

青函圏交流・連携の推進に向けた取組実績
【青森県会員】

| 団体名 | 交流・連携の取組実績 | | | | | | | | | |
|----------------|----------------------------------|---|---|---|---------|--|--|--|--|---|
| | 分野 | 名称 | 目的・趣旨 | 主な内容 | 開始年度 | 相手方 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 深浦町 | | | | | | | | | | |
| 日本郵便(株)青森中央郵便局 | | | | | | | | | | |
| 平川市 | | | | | | | | | | |
| 大鰐町 | | | | | | | | | | |
| 南部町 | | | | | | | | | | |
| あおぞら組 | 観光 | 泳げ！巨大マグロのぼりプロジェクト | 春の観光シーズンの抜切りに、五稜郭タワーに巨大なマグロのぼりを泳がせることで、津軽海峡圏の元気を全国発信する。 | 全長10m、腹回り3mという巨大マグロのぼりを作成。端午の節句に合わせて、注目の高い五稜郭タワーに泳がせる。「子どもたち！マグロのように世界に泳ぎ出せ～！」という願いを込めている。 | H23 | 五稜郭タワー | | 開催日時：平成24年4月28日～5月5日 開催場所：五稜郭タワー | 開催日時：平成25年4月27日～5月5日 開催場所：五稜郭タワー | 継続 |
| 学校法人青森田中学園 | | あおもりツーリズム創発塾(青森中央学院大学) | 地域の垣根を超えて、観光や地域づくりに関わる方のモチベーションと実践力を高めることを目的に開催。 | 平成26年度は、スポーツツーリズムの可能性を全体テーマとし、特に道南地区と連携したサイクルツーリズムの振興についてセミナー等を開催している。 | H 2 6 | 北海道開発局 | | | | 開催日時：平成26年10月16日 開催会場：青森市新町キューブ |
| 五所川原市 | 観光 | 津軽半島がっばどフェスタ | 北海道新幹線開業を約2年後に控え、津軽半島のゲートウェイとして奥津軽いまべつ駅の活用が必要と考えられる。新幹線開業により、道南地区と津軽半島のアクセス時間が短縮されることから、両地区での広域観光、物流を中心とする交流人口拡大を目的とする。 | 函館市金森倉庫、JR函館駅において、下記のイベント等を展開した。 ・観光PR展示コーナー ・パンフレット、パネル、山車の展示 ・郷土芸能ステージ ・物産展 | H 2 5 | 函館市観光振興課 金森倉庫(株) | | | | 開催日時：平成26年9月27日、28日 開催会場：函館市金森レンガ倉庫、JR函館駅 |
| 三戸町 | | | | | | | | | | |
| (株)青森銀行 | まちづくり・地域活性化・その他 | (株)青森銀行(株)北洋銀行 連携・協力事業 | 北海道新幹線の開業を見据え、両行が連携・協力を行うことにより、青函を基軸とした青森県・北海道両地域の地域経済活性化に寄与する。 | ①青函圏観光プロモーションの実施 ②ホテルオークラ札幌「函館・青森フェア」への協力 ③ATM相互無料開放セミナー ④ものづくりテクノフェア(製造業商談会)への青函連携コーナーの設置と青森県内企業の初出店 ⑤青森銀行・北洋銀行合同「経営者交流会」の開催 ⑥インフォメーションパネル(食の商談会)での青函コーナーの設置と青森県内企業の初出店 | H 2 4 | (株)北洋銀行 | | ① 開催日時：平成24年3月26日 開催場所：札幌市・北洋大通りセンタービルB1「BISSSE」 | 開催日時： ②平成25年4月1日～30日 ③平成25年4月22日 ④平成25年7月24日 ⑤平成25年8月26日 ⑥平成25年9月5日～7日 開催場所： ②札幌市・ホテルオークラ札幌 ③函館市・北洋銀行函館中央支店ATMコーナー ④札幌市・札幌コンベンションセンター ⑤青森市・青森国際ホテル ⑥東京都・池袋サンシャインシティワールドインポートマートビル4階 | 継続 |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 青函圏の「食と観光」活性化連携の枠組み構築 | 青函圏の「食と観光」を切り口に積極的な連携・協力をすることにより、青函両地域の産業交流を促進し、地域経済の活性化に寄与することを目指します。 | 当行、北洋銀行の情報力、アークスの流通力、新日本スーパーマーケット協会のコーディネート力を最大限に活用し、青函圏の新たな食の開発、観光による活性化支援を図ります。 実績としては、平成26年度に青函圏の食の商談会を実施した。 | H 2 5 | (株)北洋銀行、(株)アークス、(一社)新日本スーパーマーケット協会 | | | | 開催日時：平成26年10月30日、11月27日 開催場所：函館市、札幌市 |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 北洋銀行との協定締結 | 北海道新幹線開業を見据え、青森・北海道の両地域の経済活性化に寄与することを目的とします。 | ①ATM相互無料開放 ②経営者交流会の開催 ③各種商談会への出展者募集協力 ④青函活性化ファンドの設立 等 | H 2 5 | (株)北洋銀行 | | | 開催日時： ①平成25年4月22日 ②平成25年8月26日 ③臨時 開催会場： ②青森国際ホテル ③札幌、函館、池袋等 | 開催日時： ①平成25年4月22日 ③臨時 開催会場： ③札幌、池袋等 |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 北海道銀行との協定締結 | 北海道新幹線開業を見据え、東北・北海道の両地域の経済活性化に寄与することを目的とします。 | ①ATM相互無料開放 ②各種商談会への出展者募集協力 等 | H 2 5 | (株)北海道銀行 | | | 開催日時： ①平成25年10月7日 ②平成25年11月18日、19日 開催会場： ②札幌 | 開催日時： ①平成26年6月10日 開催会場： ②札幌 |
| 商工業 | 青函圏交流推進特別委員会 会員事業所ビジネス交流事業(仮) | 長期にわたる景気低迷や東日本大震災の影響等により、両商工会議所会員事業所は厳しい環境に置かれている。また、H27年には北海道新幹線が開業することとなり、両市の商工業者を取り巻く上は、大きく変化する可能性がある。この様な環境から、両地域の経済活力強化を目的に、両商工会議所会員事業所の収益増加を目指した交流会を実施検討している。 | ・同業種・異業種による事業マッチング商談会 ・あらゆる商品の売買 ・技術・業務連携 など | H 2 4 または H 2 5 | 函館商工会議所 | 開催日時：平成23年11月21日 15:30 開催会場：青森商工会議所(合同会議) | 未定 | 継続 | 継続 | |
| | スポーツ | 青森商工会議所議員会親睦ゴルフコンペ、懇親会 | 両商工会議所議員会の親睦交流 | 年1回、持ち回りでゴルフコンペ及び懇親会を開催している。 | H8 | 函館商工会議所議員会 | 開催日時：平成23年7月8日 開催会場：アンビックス函館ゴルフクラブ ロワジール函館 | 開催日時：平成24年7月3日 開催会場：青森カントリー倶楽部 青森国際ホテル | 継続 | 継続 |

青函圏交流・連携の推進に向けた取組実績
【青森県会員】

| 団体名 | 交流・連携の取組実績 | | | | | | | | | | |
|---------|-----------------|---------------|---|--|-------|---------|-----|-----|-----|-----|----|
| | 分野 | 名称 | 目的・趣旨 | 主な内容 | 開始年度 | 相手方 | H23 | H24 | H25 | H26 | |
| 弘前商工会議所 | 商工業 | 観光関連事業 | | <p>○はこだてクリスマスファンタジー『ひろさきナイト』（12月／函館市） 毎年12月中旬に函館ベイエリア金森赤れんが倉庫群にて開催される。はこだてクリスマスファンタジーを『ひろさきナイト』として一晩ジャック。地域アイドルや巨大アップルパイを振舞う等観光PRを展開。現在は弘前市主催（H23～） ○三市合同台湾プロモーション（H24.2） 函館、弘前、青森三市の会議所会頭、市長、観光コンベンション協会会長による観光プロモーション。函館市の仕切りで台北航空会社、旅行代理店を訪問しプレゼンテーションを行った。 ○函館からの旅行商品造成 JR北海道函館支社が弘前への誘客商品を造成。弘前城築と紅葉祭の旅／The津軽三味線in弘前鑑賞の旅／弘前城雪灯籠まつりと津軽酒造めぐりの旅 ※函館からの青森フリー切符のフリーエリアが弘前まで拡大 ○各団体が函館市内で誘客キャンペーン展開 函館駅、函館山ロープウェイ、市内百貨店、弘前市、弘前コンベンション協会、弘前市物産協会、弘前青年会議所、弘前市旅館ホテル組合、弘前商工会議所など ○ラジオ番組『きて！みて！弘前！』 弘前市旅館ホテル組合が函館市のコミュニティFM局であるFMいるかのスポンサーとなり、毎週木曜日15分番組を提供。フロントスタッフが毎週電話にて生出演し、弘前市の旬の観光情報を発信。（H26.4～）</p> | H 2 3 | 函館商工会議所 | | | | | 継続 |
| | 商工業 | 物産展関連事業 | 函館弘前両市の市長レベルでの交流と相互文化理解のために、両市において開催される物産展等への出店を行っている。 | <p>○はこだてスイーツフェスタ（10月／函館市内百貨店） 函館市、函館商工会議所などが主催する函館のスイーツ物産展に当所が弘前アップルパイブースを招待出店。例年早期完売で売り上げトップとなっている。（H24～） ○津軽のクラフト展（12月／函館市） はこだてクリスマスファンタジー『ひろさきナイト』にあわせて、金森赤れんが倉庫内ギャラリーにて津軽の手仕事、ものづくり展を開催。当所と弘前工業協会による共催。（H24～） ○北海道うまいもの大会（6月／函館市百貨店） 函館市内百貨店（丸井今井函館店）と北海道産品総合振興局が主催する北海道内の物産展から当所がオファーを受け、弘前市物産協会が特別出店。道外から有いつの出店（H25～） ○はこだてグルメサークス（9月／函館市） 函館市、函館商工会議所、北海道新聞社が主催する全国規模のイベントに、弘前市の事業として当所青年部、弘前観光コンベンション協会、民間事業者等が大量出店。（H24～） ○函館からの出店等 平成23年より当所等が主催する物産展「津軽の食と産業まつり」に函館商工会議所を通じて民間事業者が出店している。 また、北海道産品総合振興局も平成26年7月に弘前市中心商店街にて物産観光イベント「函館・道南を感じる一日inひろさき土手町」を開催。</p> | H 2 3 | 函館商工会議所 | | | | 継続 | |
| | 商工業 | 連携商品関連事業 | 津軽海峡ブランド確立のために、両地域の事業者をマッチングし、新しい商品を開発する。 | <p>①日本酒「ガスバリー2013」720ml／1575円 道産の復刻米を原料とし、弘前市の蔵元が醸造、函館市において販売した。 企画・プロデュース：同業種団体「クラブガストロミーリアアリス」（函館市） （H25～） 醸造：六花酒造株式会社（弘前市） ②お菓子「金森赤れんが倉庫のキャラメルトート」525円 人気観光スポットの金森赤れんが倉庫のPB商品を弘前市のお菓子メーカーが企画製造（OEM）。販売：金森商船株式会社（函館市） 企画製造：株式会社ラグノオサキ（弘前市） （H25～） ③日本酒「DANSHAKU selection」180ml 山廃純米酒 432円 純米吟醸酒 540円 純米大吟醸 648円 販売：HAKODATE 男爵クラブ HOTEL&RESORTS 醸造：白神酒造 （H26～）</p> | H 2 5 | | | | | | |
| | まちづくり/地域活性化/その他 | 津軽海峡観光クラスター会議 | 平成27年度の北海道新幹線開業を見据え、観光を核とした地域経済の活性化を実現するため、平成23年4月20日に弘前・函館両会議所で設立。 | 両会議所間正副会頭クラスの意見交換。 両会議所部会や委員会、青年部の視察や意見交換の開催。 両市イベント等への積極参加。 | H 2 3 | 函館商工会議所 | | | | 継続 | |

青函圏交流・連携の推進に向けた取組実績
【北海道会員】

| 団体名 | 交流・連携の取組実績 | | | | | | | | | |
|------------------------------------|-----------------|--|--|--|-------|----------------------------|---|--|---|---|
| | 分野 | 名称 | 目的・趣旨 | 主な内容 | 開始年度 | 相手方 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 北海道商工会議所連合会 | | | | | | | | | | |
| 北海道商工会連合会 | まちづくり・地域活性化・その他 | なまらいっしょ北海道フェア | 北海道の魅力や首都圏在住者にアピールする機会を作り、商工会と市町村などが連携して、観光や移住、ふるさと納税のPRや特産品のPRを行うイベントを東京で開催し、北海道フェアを開催することによって、交流、定住人口の拡大や特産品の販路拡大など地域活性化に寄与する。 | 出展者が各ブースで観光、特産品のPR、ふるさと納税の募集、地球おこし協力隊の募集、移住プロジェクトを実施。道内9市町から参加。 このイベントの中で、青森県商工会連合会と共同で、北海道新幹線開業のPRを実施する。(パンフレットの配布、マスコットキャラクター「どこでもユキちゃん」によるPRなど) | H 2 6 | 青森県商工会連合会 | | | | 開催日時：1月24日～25日 開催場所：東京シティアイ ハフォー・マンスゾーン |
| 北海道漁業協同組合連合会 | | | | | | | | | | |
| 北海道観光振興機構 | | | | | | | | | | |
| (株)日本政策投資銀行 北海道支店 | | | | | | | | | | |
| 北海道大学 | | | | | | | | | | |
| 函館大学 | 教育 | 青森商業高校・函館商業高校・函館大学 3校高大連携事業 | 青森商業高校・函館商業高校・函館大学の生徒・学生・教職員が協同して実習を行うことで、コミュニケーション能力の向上や自校での活動だけでは得られないスキルの獲得を目指している。 | 今年度は青函ツインシティ提携25周年、北海道新幹線開業を念頭においたお菓子土産の商品開発を行っている。11月13日・14日に3校が集まるワーキングショップを行い、商品についてのアイデアを出し合った。 | H 1 8 | 青森県立青森商業高等学校 | 開催日時：平成24年12月3日、4日 開催会場：函館市地域交流まちづくりセンター、函館大学 | 開催日時：11月14日～15日 開催会場：函館大学ベイエリア サテライト、函館大学 | 開催日時：11月13日～14日 開催会場：函館大学ベイエリア サテライト、函館大学 | |
| 公立はこだて未来大学 | 学術・研究 | 青森公立大学との学術交流 | 公立はこだて未来大学と青森公立大学の信頼と友好を増進させ、教育と学術研究の発展を促進させるために学術交流協定を締結し、右の「主な内容」の交流計画を互恵の原則に基づき実施する。 | (1)教職員及び研究者の交流 (2)学生の交流 (3)共同研究の実施 (4)講義、講演、シンポジウムの実施 (5)学術情報及び資料の交換 (6)両大学が同意するその他の学術交流 ※当協定は、学生の交流に資する取り組みとして、両大学の学生、教員の参加による連携ワークショップの実施を検討する。 | H 2 6 | 青森公立大学 | | | | 学術交流協定締結 開催日時：平成26年11月9日 開催会場：花ししホテル (函館市) |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 地方都市大学懇話会 | 地方都市大学懇話会は、公立大学を設置する4事務組合等(函館県公立大学広域連合・青森地域広域事務組合(平成21年4月に市立化)・釧路公立大学事務組合・宮崎公立大学事務組合(平成23年4月に市立化))で構成し、事務組合等大学運営に共通する問題について相互理解を深めながら、大学運営の一層の充実を図り、地域の振興に資することを目的に設置。 | 構成団体で幹事大学を持ち回り、年1回程度、共通する課題、検討テーマを持ち寄り、その解決に向けた意見交換・情報共有のための場として懇話会を開催している(学長・事務局長等が参加)。 | H 1 3 | 青森公立大学 釧路公立大学 宮崎公立大学 | 開催日時：平成25年9月26日 開催会場：公立はこだて未来大学 | 開催日時：平成26年9月4日 開催会場：青森公立大学 | | |
| 北海道体育協会 | | | | | | | | | | |
| 北海道文化団体協議会 | | | | | | | | | | |
| (公社)日本青年会議所 北海道地区協議会 | | | | | | | | | | |
| 北海道 | | | | | | | | | | |
| 北海道市長会 | | | | | | | | | | |
| 北海道町村会 | | | | | | | | | | |
| 北海道渡島町村会 | | | | | | | | | | |
| 北海道檜山町村会 | | | | | | | | | | |
| 函館市 | まちづくり・地域活性化・その他 | 青函ツインシティ | 青森市と函館市は、青函トンネルの開通を契機として、新青函経済文化圏の形成を目指し、文化・スポーツ・観光・経済等の幅広い分野にわたる積極的な交流を図り、お互いの発展をはぐくみ、長期的な友好親善と将来の発展を念願して、青函トンネル開業1周年の平成元年3月13日に、「ツインシティ(双子都市)」の提携の誓約を締結 | 文化・スポーツ・観光・経済等の幅広い分野にわたる各種団体の自主的、積極的な交流。 | H 1 | 青森市 | 開催日時：各交流団体による 開催会場：各交流団体による | 開催日時：各交流団体による 開催会場：各交流団体による | 開催日時：各交流団体による 開催会場：各交流団体による | |
| 青森商工会議所・函館商工会議所 会員事業所パートナーシップ構築懇談会 | 商工業 | 青森商工会議所・函館商工会議所の会員事業所による「商品開発」「販路拡大」「技術提携・連携」等経済連携の促進。 | | 会員事業所単独またはコンソーシアム(2事業所以上の共同体・部会グループなど)での青函パートナーシップによる事業提案を募集し、両地域の関心のある事業所に対して、プレゼンテーションの場を提供。青函でのビジネスマッチを実現させる。 ＜平成26年度＞ 第3回：函館商工会議所・会員事業所から事業提案を募り、青森においてプレゼンテーションを実施。 第4回：青森商工会議所・会員事業所から事業提案を募り、函館においてプレゼンテーションを実施。 | H 2 5 | 青森商工会議所 | 第2回 開催日時：平成25年9月25日 開催会場：青森国際ホテル | 第3回 開催日時：平成26年9月26日 開催会場：青森国際ホテル | 第4回 開催日時：平成27年3月18日 開催会場：函館国際ホテル | |
| | スポーツ | 青函商工会議所議員会 親睦ゴルフコンペ・懇親会 | 青森・函館の両商工会議所議員会同士の親睦・交流を図る | 年1回、持ち回りでゴルフコンペ及び懇親会の開催 | H 8 | 青森商工会議所議員会 | ゴルフコンペ 開催日時：平成25年7月11日 開催会場：大沼レイク ゴルフクラブ 懇親会(函館) 開催日時：平成25年12月5日 開催会場：ホテル函館ロイヤル 懇親会(青森) 開催日時：平成26年12月9日 開催会場：ホテル青森 | 懇親会(函館) 開催日時：平成26年12月5日 開催会場：ホテル函館ロイヤル 懇親会(青森) 開催日時：平成26年12月9日 開催会場：ホテル青森 | | |

青函圏交流・連携の推進に向けた取組実績
【北海道会員】

| 団体名 | 交流・連携の取組実績 | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------------|--|---|---|-------|---|--------------------------------------|--|---|--|
| | 分野 | 名称 | 目的・趣旨 | 主な内容 | 開始年度 | 相手方 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 函館商工会議所 | まちづくり・地域活性化・その他 | 青森商工会議所議員会年末交流会・函館商工会議所議員会歳末懇親会 | 青森・函館の両商工会議所議員同士の親睦・交流を図る。 | ○青森商工会議所議員会「年末交流会」 年1回、青森商工会議所が主催する同会合に、来賓として函館商工会議所の議員が臨席させていただいている。 ○函館商工会議所議員会「歳末懇親会」 年1回、函館商工会議所が主催する同会合に青森商工会議所の議員の方々にご臨席していただいている。 | H 6 | 青森商工会議所議員会 | | | 函館 開催日時：平成25年12月5日 開催会場：ホテル函館ロイヤル 青森 開催日時：平成25年12月10日 開催会場：ホテル青森 | 函館 開催日時：平成26年12月5日 開催会場：ホテル函館ロイヤル 青森 開催日時：平成26年12月9日 開催会場：ホテル青森 |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 青函合同例会 | 青森・函館商工会議所青年部間の交流を図る。 | 第1部 講演会 講師：株JR東日本青森商業開発 取締役営業部長 藤間 勉 氏 演題：青函交流に向けたアフタフターの取り組みについて 第2部 テーブルディスカッション・懇親会 | H 1 5 | 青森商工会議所青年部 | | | 開催日時：10月25日 開催会場：ホテル函館ロイヤル | 開催日時：10月17日～18日 開催会場：青森国際ホテル |
| | 商工業 | 物産交流関連事業 | 弘前市・函館市の市民レベルでの交流と相互文化理解のために、両市において開催される物産展等への出店を行っている。 | ○はこだてグルメサカスへの弘前商工会議所出店対応(9月5日(金)／函館市) ○津軽の食と産業まつり(10月17日(金)～19日(日)／弘前市) 平成23年～25年、函館商工会議所経由で2店舗が招待出展。平成26年は2店舗が独自に出店し、函館商工会議所が出店補助及び青函圏観光都市会議アースにおいて青森・弘前・八戸・函館の観光と北海道新幹線開業のプロモーションを実施。 | H 2 3 | 弘前商工会議所 | | | | 開催日時・場所 9月5日 函館市 10月17日～18日 弘前市 |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 津軽海峡観光クラスター会議 | 平成27年度の北海道新幹線開業を見据え、観光を核とした地域経済の活性化を実現するため、平成23年4月20日に弘前・函館商工会議所で設立。 | 青森・函館両会議所間正副会頭クラスの意見交換。 青森・函館両会議所部会や委員会、青年部の視察や意見交換の開催。 青森・函館両市イベントへの積極参加。 | H 2 3 | 弘前商工会議所 | | | | |
| | 商工業 | 「津軽海峡ブランド博」ブース出展及び新幹線開業プロモーション | 「青森商工会議所・函館商工会議所 会員事業所パートナーシップ構築懇話会」参加企業の商品と北海道新幹線開業をPRすること。 | 会場内にブースを出展し、パートナーシップ構築懇話会参加企業の商品のPRを実施。また北海道新幹線開業をPRするためのサンプリングも実施。 | H 2 6 | 青森商工会議所 | | | | 開催日時：11月21日～23日 開催会場：青森産業会館 |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 東北新幹線沿線YEG函館PRキャラバン ※YEG(商工会議所)青年部 | 北海道新幹線開業で繋がる東北～北関東のYEGの方々に北海道新幹線が平成27年度末に開業することを周知し函館のPRを展開する。また、一方的な函館観光のPRではなく今後の相互交流に向けた土台作りをする。 | 函館YEG会員の視点から、函館の良い処やお薦めのお店などをピックアップして作成したガイドブックを持参し、各YEGを訪問して直接PRを実施した。また、訪問先で当地の名所、グルメやおすすすめを聞き取り質問シートを用意し、持ち帰って函館YEG会員にPRした。 | H 2 6 | 東北新幹線沿線の33 YEG (青函圏では青森・弘前・八戸・黒木・五所川原・十和田 YEG) | | | | 開催日時：8月25日～26日 開催場所：各所 |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 函館・道南を感じる1日 in ひろさき土手町における道南観光・物産プロモーション | 北海道新幹線新函館北斗開業を間近に控え、津軽地方と道南圏の観光資源の相互理解等を深める。 | 第7回弘前/丸根に函館の料理人集団「ガストロノミー・バリアドレス」が「クラブオアシス/リバーfrom 函館」を出店することに合わせ、会場において道南観光と北海道新幹線開業のPR活動を実施した。 主催：北海道遠島島嶼振興局、函館商工会議所、函館西部地区/丸根実行委員会 | H 2 6 | 弘前市・弘前商工会議所・弘前中心市街地活性化協議会・街アップルコミュニケーションズ・弘前丸根実行委員会 | | | | 開催日時：平成26年7月5日 開催会場：土手町コミュニティパーク(弘前市) |
| | 商工業 | 新商品開発関連 | 津軽海峡ブランド確立のために、両地域の事業者をマッチングし、新しい商品を開発する。 | ○日本酒「男爵セレクション002」 (山廃純米酒/432円、純米吟醸酒/540円、純米大吟醸/648円 各180ml) 函館市の「函館男爵倶楽部Hotel&Resorts」と弘前市の「白神酒造」のタイアップ商品開発に際し、函館・弘前商工会議所が仲介、弘前市で醸造され、函館市(男爵倶楽部)館内で販売されている。 | H 2 6 | | | | | |
| 北海道遠島管内商工会連合会 | | | | | | | | | | |
| 道南地区農業協同組合長会 | | | | | | | | | | |
| 渡島管内漁業協同組合長会 | | | | | | | | | | |
| 函館国際観光コンベンション協会 | 観光 | 青函広域観光プロモーション | 来たる2016年3月の北海道新幹線開業を見据え、最大ターゲットとなる首都圏の旅行会社各社に向けた函館及び青森(青森市、八戸市、弘前市)との共同による広域観光プロモーションを実施 | 「観光プレゼンテーション」 旅行会社各社との「商談会」 | H 2 6 | | | | 開催日時：平成26年11月18日 開催会場：第一ホテル両国 (東京都) | |
| 渡島地方文化団体連絡協議会 | | | | | | | | | | |
| (一社) 函館青年会議所 | | | | | | | | | | |
| 福島町商工会 | | | | | | | | | | |
| (株) エイシー | 商工業 | ICT交流事業 | 公共マーケットにおける情報交換 | マイナンバー制度に関する情報交換 | H 2 5 | (株) 青森電子計算センター | | | 開催日時：平成26年10月10日 開催会場：エイシー会議室 | |
| 松前商工会 | | | | | | | | | | |
| (公財) 函館地域産業振興財団 | | | | | | | | | | |
| 函館物産協会 | 商工業 | 青森・函館の物産と観光展 | 青森・函館両市特産品の販路拡大および観光客誘致を目的とする | 青函ソインシティ交流事業の一環として、平成元年より毎年1～3回百貨店等にて物産展を開催。両市特産品の紹介販売および観光PRをすることで、当該地域への特産品販路拡大と観光客誘致に繋げる。 | H 1 | (一社) 青森物産協会 | 開催日時・会場 1月30日～2月4日 宇都宮市 福田屋百貨店 | 開催日時・会場 5月30日～6月4日 名古屋市 丸栄 12月11日～17日 高松市 天満屋 1月15日～20日 宇都宮市 福田屋 | 開催日時・会場 5月15日～20日 名古屋市 丸栄 9月3日～8日 山形市 大沼 1月14日～19日 宇都宮市 福田屋 | |

青函圏交流・連携の推進に向けた取組実績
【北海道会員】

| 団体名 | 交流・連携の取組実績 | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----------------|--|---|---|-------|--|--|--|---|--------------------------------|
| | 分野 | 名称 | 目的・趣旨 | 主な内容 | 開始年度 | 相手方 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 津軽海峡フェリー(株) | 観光 | 津軽海峡を旅するマガジン「Tug」[タグ] | 津軽海峡フェリーが地域貢献・活性化の取り組みとして年3回発行する季刊旅行誌。 「Tug」とは英語で強い引きの意味で、当社では本誌制作を含む青森→道南への地域貢献・活性化の一連の取り組みをプロジェクトTugとして展開し、青函圏の交流・連携推進に積極的に取り組んでいる。 津軽海峡を旅した両岸の旅行を牽引する情報誌として、青森東港と函館(北海道)を軸的に捉えた「津軽(TUGaru)海峡エリア」全体としての観光エリア視点を重視した紙面づくりを目指しています。 | 「津軽海峡エリア」の四季折々のタイムリーな情報の提供 ・毎号の特集による地域の魅力発信 ・最新の観光情報 ・エリア内の移動手段や地図の提示 | H 2 2 | 青森～北海道エリアの飲食店・観光地・イベント等(毎号取り上げる内容により変動有り) | | 発行月:3月、6月、9月 発行部数:13～15.5万部 | 発行月:3月、6月、9月 発行部数:13～15.5万部 | 発行月:3月、6月、9月 発行部数:13～15.5万部 |
| | 観光 | 乗船券で得るサービス「Ferry-pon(フェリポン)」 | ・フェリーの乗船者へ津軽海峡エリアの魅力ある観光施設や飲食店、宿泊施設を紹介する ・フェリー乗船券を実際には提携店へ送客する。 | ・津軽海峡フェリーの提携店で乗船券を提示すると、特別サービスが受けられるクーポンシステム。 2015年1月現在北海道・東北地方で合計180店舗が同クーポンへ加盟。加盟店は飲食店、アウトドア体験施設、温泉・ホテル、ガソリンスタンド、レンタカーと多岐に渡る。 ・上述のプロジェクトTugの取組の一環 | H 2 3 | 東北～北海道の飲食店、アウトドア体験施設、温泉、ホテル、ガソリンスタンド、レンタカー業者など | | 発行月:4月、9月 クーポン提供数:158店舗 | 発行月:4月、9月 クーポン提供数:160店舗前後 | |
| | まちづくり・地域活性化・その他 | 津軽海峡WEBショップ | ・津軽海峡エリアの特産品をWEBにて販売し、地域産品の認知・需要拡大の支援をする ・特産品を紹介することで、閲覧者にその地域に興味を持っていただき旅行需要を創出する | ・津軽海峡エリアの様々な業者と提携し、22地域の特産品約80点をWEBにて販売し当エリアの産品の認知拡大を図っている。中には当ショップの限定品や、漁獲から直送される「漁師お任せ大漁セット」など、県外で購入できない珍しい商品も全国へ紹介し、販売。 ・フェリー利用者のみならず、多数のお客様へ津軽海峡エリアの食の魅力を発信している。 | H 2 3 | 青森～北海道の漁協や食品生産会社、小売店等 | | 24時間注文受付中 津軽海峡フェリーWEB | 24時間注文受付中 津軽海峡フェリーWEB | |
| せたな町文化協会 | | | | | | | | | | |
| 知内商工会 | 商工業 | 津軽海峡商工会経済交流協議会 | 津島西四町と津軽半島東部四地域の経済・文化の振興発展のため、関係機関と連携を図り経済の活性化に寄与することを目的とする。 | ・各地域の産業まつり等への参加 ・各商工会地域の情報交換 ・商工会職員の間による情報交換会の開催 | S 6 3 | 津軽海峡商工会経済交流協議会 | | 開催日時:平成25年7月3日 開催場所:青森県今別町 | 開催日時:平成26年6月21日 開催場所:北海道知内町 | |
| 森藤ノホストーンサークル研究会 | | | | | | | | | | |
| 函館保護司会連合会 | 教育 | 青森地区・函館地区保護司会ツイン提携 | 青森地区保護司会と函館地区保護司会にて、研修交流、親善交流をし、相互理解と情報交流を深める目的及び、行政上においても青函トンネル開通を契機に更生保護制度の構築をめざし末永い有効と親善を深めるものである | ○青森地区の「みんなのつどい」への参画 ○函館地区の「市民のつどい」への参画 ○青森・函館地区での「保護司会交流研修会」への参画 | H 8 | 青森地区保護司会 | | 開催日時:会場 7月2日 リンクステーションホール青森 7月6日 函館市民会館 10月21～22日 函館地方合同庁舎 | 開催日時:会場 7月6日 リンクステーションホール青森 7月10日 函館市民会館 9月16～17日 青森国際ホテル | |
| 函館マジッククラブ | 文化・芸術 | 青函交流 青函合同マジック発表会 | 青森・函館両地域の文化交流促進、マジック技術の向上を目的に、発表会を実施している | 市民を対象に、青函のマジシャングループが合同で発表会を実施している | H 1 2 | ・青森マジンジャズクラブ ・青森NHKマジック教室 | 開催日時:平成24年6月17日 開催会場:函館湯の浜ホテル | 開催日時:平成25年6月16日 開催会場:函館湯の浜ホテル | 開催日時:平成26年6月15日 開催会場:函館湯の浜ホテル | |
| | 文化・芸術 | 青森市民文化祭(青函交流マジンジャの集い) | 青森・函館両地域の文化交流促進、マジック技術の向上を目的に、発表会を実施している | 毎年開催される青森市民文化祭のマジック部門として、青函のマジンジャグループが合同でマジックの発表を実施している | H 1 3 | ・青森マジンジャズクラブ ・青森NHKマジック教室 ・青森マジックコミュニティ | 開催日時:平成24年9月30日 開催会場:青森市民ホール | 開催日時:平成25年9月22日 開催会場:青森市民ホール | 開催日時:平成26年9月28日 開催会場:青森市民ホール | |
| (地協)北海道立総合研究機構 水産研究本部函館水産試験場 | 学術・研究 | 青函水産試験研究交流会議 | 津軽海峡の両岸に位置する青森県・北海道の水産試験研究機関が相互に交流を深めることにより、水産試験研究の充実を図るとともに、周辺海域の水産業の発展に寄与することを目的とする | (1)共同研究・研究交流 随時、課題を設定し、研究等を行う (2)交流会議 上記(1)で得られた成果等を発表する | H 9 | 地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所 | | | | |
| 森商工会議所 | | | | | | | | | | |
| 函館湯の川温泉旅館協同組合 | | | | | | | | | | |
| 北日本海運(株) | | | | | | | | | | |
| 函館工業高等専門学校 | | | | | | | | | | |
| 北海道樟山管内商工会連合会 | | | | | | | | | | |
| 知内町文化団体連絡協議会 | | | | | | | | | | |
| 函館市女性会議 | まちづくり・地域活性化・その他 | 平成26年度青函市女性会議連絡会青函交流会～青函ツインシティ提携25周年記念講演会～ | 「男女共同参画都市」青森宣言を具体化するために開催 | 「記念講演会」 テーマ「緑命についてすること」 講師 青森県立中央病院 医療管理監 小野正人氏 「情報交換」 テーマ「青函25周年の歩みとこれからの青函交流について」 | H 1 | 青森市女性会議連絡会 | 開催日時:平成24年11月9日 開催会場:函館市中央図書館(函館市) | 開催日時:平成25年10月21日 開催会場:函館市中央図書館 | 開催日時:平成26年10月22日 開催会場:青森市男女共同参画プラザ(カダール) | |
| 七飯町商工会 | | | | | | | | | | |
| 共栄運輸(株) | | | | | | | | | | |
| NPO法人 語りつづ青函連絡船の会 | | | | | | | | | | |
| 函館サッカー協会 | | | | | | | | | | |
| 函館アコーディオンクラブ | 文化・芸術 | 青函アコーディオン交流会 | 青森アコーディオンクラブ、函館アコーディオンクラブ両クラブの懇親を深める交流会 | 青森～函館両クラブの選曲によるコンサート開催 | S 5 0 | 青森アコーディオンクラブ | 開催日時:平成24年6月6日 開催会場:ロフジールホテル函館(青函圏交流・連携推進会議総会懇親会) | 開催日時:平成25年6月10日 開催場所:青森グランドホテル(青函圏交流・連携推進会議総会懇親会) | 開催日時:平成26年4月12日 開催会場:カフェアリア「モリエ」 | |
| 函館剣道連盟 | スポーツ | 青函圏(青森・函館・室蘭)三市対抗親善剣道大会 | 青函圏在住の社会人を対象に、両地域の交流促進・競技向上を目的に剣道大会を実施している | 年1回(順点開催)、交流稽古、交流試合(団体戦) | S 2 9 | | 開催日時:10月26～27日 開催場所:函館市 | 開催日時:10月25～26日 開催場所:室蘭市 | | |

